

日 時	令和5年10月12日(木) 15:00~16:00
学校名/機関名	宇河地区生徒指導連絡会
対 象	教員 約70名
講 師	奥山 浩司氏 (日本プラスター株式会社 代表取締役)
内 容	<p>今回は、宇河地区の中学校・高等学校の生徒指導担当教員に向け、「多様化する社会で、今、生徒の指導に求められること」をテーマに講話を行った。</p> <p>社長として、会社に対してどんな思いを持っているか、社員にどう接することで会社が良くなるのか。そういったお話を、熱のこもった言葉で先生たちに伝えていた。その話は、職員室で中核をなす生徒指導担当教員にとっては、「中核として、学校にどんな思いを持つべきなのか」「他の先生達にどう接することで学校が良くなるのか」ということに直結していた。</p> <p>学校の先生たちは、一般企業の経営者と接することは多くない。奥山氏の経営に関する話に、驚くような反応をしていた先生も少なからずいた。しかし、結局は経営者も先生も、人と接する仕事ということに変わりはない。だから、大切なことにも共通することは多い、ということ学ぶことができた。</p> <p>今回の講演で、あまり聞くことのできない経営者の話を聞き、学校の中心的存在としてどう考え、行動するべきなのか、改めて考えた先生も多くいることと思う。</p>

